

# 創校70周年記念式典



H29.11.11



11月号

H29  
11.30



発行者  
中西利彦

昭和22年(1947年)4月に創立された住吉第一中学校は、70周年という節目の年を迎えました。卒業生は、16623名を数えています。平成19年10月20日(土)に開催された60周年記念式典から10年。

70年の歴史を振り返り、今後の本校の発展を祈念して、70周年記念事業が行われました。その目的を表したものが記念式典です。第一部は多くのご来賓を迎えての厳粛な式典。第二部は、生徒の発表という形式でした。

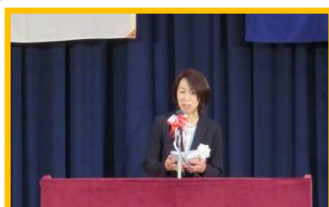


「至誠、明朗、友愛、自律」の校訓に沿った学校づくり、社会の担い手になってほしいという校長式辞の後、記念事業委員会の久保委員長、PTAの上村会長のご挨拶があり、引き続き、大阪市教育委員会の高橋担当課長、西原住之江区長のご祝辞をいただきました。また、記念事業に際



し、講演台と花台、そして化粧幕が寄贈されました。来賓紹介後、生徒代表の湯原さんが「喜びの言葉」を述べてくれ

久保委員長(上)  
上村PTA会長(下)



高橋課長

この素晴らし  
い伝統を私た  
ちが引き継ぎ、  
後輩へしっか  
りとおつないで  
いくという力



東実行委員長

強いメッセージを発信してくれました。そして、伝統の校歌斉唱で一部が終了しました。二部は、生徒会役員、執行委員が発表してくれました。「住一中70年の歩み」と題して、創立からの映像を交えて、70



西原区長

年を振り返ってくれました。続いて、全学年で歌った「心の瞳」。式典一週間ほど前から、朝のホー

ムルーム前にクラス単位で練習をしていて、校舎横の道を歩いている人に美しいハーモニーを聞かせてくれていました。全員での練習は、直前の予行の時、一度きりでしたが、心合わせてきれいな歌声になっていた



生徒喜びの言葉  
湯原さん



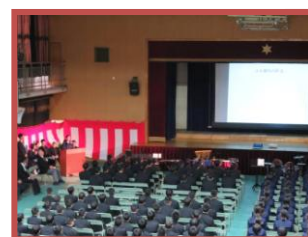
吹奏楽部



全員合唱



記念冊子



70年の歩み

大阪市立住吉第一中学校

ました。そして、最後は、吹奏楽部の演奏。楽しくて、アンコールがかかるほど、楽しいひと時でした。厳粛な式典と温かい雰囲気、生徒発表でした。これを節目に、自分たちの学校がさらにすばらしい学校になり、自分の夢がかなえられるように頑張りましょう。



生徒会の皆さん



## 小中連携―中学校体験授業

11月2日(木)

11月2日(木)の午後、校区の粉浜小学校、北粉

浜小学校の6年生が本校で学校紹介を受け、体験授業に臨みました。やや緊張の面持ちで、正門をくぐり、体育館で、生徒会役員から、映像を見ながら本校の紹介、特に中学校生活について、紹介がありました。また、質疑応答の時間では、想定される質問を生徒会の人たち自ら質問し、それに対して丁寧に答えてくれたのが印象的でした。その後、事前に希望した教科の授業を受けるためにグループ分けがされ、各教室に向かいました。国語は、「詩」の学習。社会は、想像のまちづくりを地図で表します。数学は一筆書きに挑戦。理科は化石について学習。英語は、国旗あてクイズや自己紹介ならぬ設定された人物になりきっての紹介。保健は、球技を体育館で。音楽は、合唱とリズム。家庭科は、ミシンを使つての小物作り。技術科は、パソコン教室で来年のカレンダー作りに挑戦しました。短い時間でしたが、中学校の雰囲気を感じて帰って行きました。



## 《粉浜小学校》・《北粉浜小学校》

11月2日(木)の午後、校区の粉浜小学校、北粉浜小学校の6年生が本校で学校紹介を受け、体験授業に臨みました。やや緊張の面持ちで、正門をくぐり、体育館で、生徒会役員から、映像を見ながら本校の紹介、特に中学校生活について、紹介がありました。また、質疑応答の時間では、想定される質問を生徒会の人たち自ら質問し、それに対して丁寧に答えてくれたのが印象的でした。その後、事前に希望した教科の授業を受けるためにグループ分けがされ、各教室に向かいました。国語は、「詩」の学習。社会は、想像のまちづくりを地図で表します。数学は一筆書きに挑戦。理科は化石について学習。英語は、国旗あてクイズや自己紹介ならぬ設定された人物になりきっての紹介。保健は、球技を体育館で。音楽は、合唱とリズム。家庭科は、ミシンを使つての小物作り。技術科は、パソコン教室で来年のカレンダー作りに挑戦しました。短い時間でしたが、中学校の雰囲気を感じて帰って行きました。



## 学校協議会

10月31日(火)に、学校協議会が開かれました。

①全国学力・学習状況調査の結果、分析について  
②中学校チャレンジテスト(3年)の結果について  
③学校診断アンケートについて  
④運営に関する中間反省についての4点について、校長から説明をいたしました。全校の学力テスト結果と3年生のチャレンジテストの結果については、「いつちゅう10月号」でお知らせしたように、全国平均や大阪府平均との比較を表で示した通りです。さらに、全国学力テストの生徒質問や学校診断アンケートから共通している点が浮かび上がってきました。肯定的な結果についてはさらに伸ばしていきたい、否定的な意見については、課題と認識し、改善の道を探るよう努めてまいります。左表を参照してください。



- 全国、大阪府基準を上回った点
- ・「学校の規則を守っている」(98.3%)
  - ・「友だちとの約束は守る」(97.5%)
  - ・「学校に行くのは楽しい」
  - ・「友だちと会うのは楽しい」など

- 全国、大阪府基準より下回った点

- ・「自分には良いところがある」
- ・「予習、復習をしている」(学校診断でも低い)
- ・「授業で、学習の目標が示された」
- ・「授業の最後に学習内容を振り返る」
- ・「授業中に学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取組んだ」など「授業中等での話し合い」「意見発表の場」

※全国学力テストと学校診断とほぼ同じ傾向だったので、全国の学力テスト結果で表示しています。(学校診断は、全学年対象。)

## 編集後記

2学期は、皆さんの授業に臨む姿勢を見せてもらう機会が多かったです。多くの人は、授業に集中している様子で、さすが「一中生」と思えることが多かったのです。しかし、姿勢は授業に向いているのですが、心はどこか違う場所にあるという人も見受けられました。今受けた授業は二度と同じ授業を受けることはできません?!しっかり集中して、その時に考えなければならぬこと、発表しなければならぬ実技・実習など教科によって違うかもしれませんが、あとで後悔のないように有意義に過ごしてほしいと思います。「後悔、先に立たず」です。

出続け、「使つてはいけない」という心と一生葛藤し続けなければならぬ。そして、疲れ果てて、「薬物依存」から抜けだせなくなってしまうという恐ろしいお話でした。そして、悪い仲間からの誘いをどう断るかというロールプレイングが行われました。友人、先輩また、見知らぬ人から誘われても、きっぱりと断ること。そして、その場から立ち去ること。できるだけ、人の多いところに向かつて立ち去るのがよいとのことでした。

## 薬物乱用防止教室

11月17日(金)、6限に「薬物乱用防止教室」が行われました。地域の若山先生をはじめ、保護司、更生保護女性会や町会の方々まで多くの方々が来校され、一年生を対象に「薬物乱用防止教室」を開いていただきました。初めに、乱用防止のDVDを見て、その後、若山先生の講演がありました。一旦薬物に手を出すと、脳から「薬物を使え」という指令が



物を使え」という指令が出続け、「使つてはいけない」という心と一生葛藤し続けなければならぬ。そして、疲れ果てて、「薬物依存」から抜けだせなくなってしまうという恐ろしいお話でした。そして、悪い仲間からの誘いをどう断るかというロールプレイングが行われました。友人、先輩また、見知らぬ人から誘われても、きっぱりと断ること。そして、その場から立ち去ること。できるだけ、人の多いところに向かつて立ち去るのがよいとのことでした。

